

テレビ静岡では番組の適正化を諮るための審議機関「番組審議会」を設けています。

このページでは番組審議会の議事の概要をお知らせしています。現在、テレビ静岡では県内在住の8名の方に審議委員をお願いしており、毎月1回（2月、8月は休会）番組について、ご意見を伺い、今後の番組制作の参考にさせていただいています。

テレビ静岡 2020年4月度 番組審議会概要

2020年4月9日（木）

14時00分～

テレビ静岡本社 4階 会議室

— 出席委員 —

高木 正和(委員長) 戸崎 文葉(副委員長) 石田 美枝子
木村 精治 上柳 正仁(リポート出席) 飯野 勝己(リポート出席)
東松 充憲 飯塚 潤

— 議 題 —

番組名 感動地球スペシャル
「みなしごゾウを守れ～松下奈緒ケニア感動物語～」

放送日時 2020年3月1日（日） 16時05分～17時20分
テレビ静岡発 フジテレビ系全国28局ネット番組

制作著作 テレビ静岡

— 番組内容 —

大自然やそこに暮らす人々・動物をテーマにした「感動地球スペシャル」の第30弾。昨年に引き続き女優の松下奈緒さんが旅人となり、アフリカ・ケニアを訪ねた。地球最大の生物・アフリカゾウは、象牙目当ての密猟・乱獲で絶滅の危機に瀕している。松下さんが訪れたのは、親を亡くしたみなしごゾウを保護し、育て、野生に返す活動を40年ほど前から続けている動物保護施設。ゾウの世話をする「キーパー」という仕事は、日の出とともに散歩に出て一日中サバンナを移動しながら、ゾウたちに泥浴びや食事をさせ、ともに遊び、夜はともに眠るという過酷な仕事だ。

特別な許可を得てキーパーに同行することが許された松下さんは、ゾウと心を通わせることができるのか？そして、最後に流した涙の理由は？

— 審議概要 —

- ◎間近で撮影したゾウの映像は、ゾウの大きさや皮膚の感触、枝を折る音なども至近距離で収められ、大変迫力があつた。また、泥を体に塗ったり、仲間のゾウと戯れたりする生態も楽しく、人間の子供を見ているようだった。
- ◎怖がらずにゾウと接する松下奈緒さんは飾らず自然体でとても良かった。現地の人々に積極的に話しかけ、自分から輪に入っていく姿勢も好感を持った。
- ◎2つの施設（ツァボとナイロビ）でのゾウとの触れ合いが軸となっているが、それぞれ十分時間を取り、じっくり見ることができた。色々詰め込みがちな構成が多い中、ゆったりとした番組で心地よかった。
- ◎一般の観光では体験できないような保護施設の内部や活動を知ることができる貴重な映像だった。キーパーの愛情と献身的な姿勢がよく伝わってきた。
- ◎日本にはない壮大な自然がよく描かれていた。そこに生きる動物や人、社会と環境、アフリカと世界などが絡み合った構成で、自分に何ができるか考えさせられた。
- ◎野生の子ゾウが親ゾウに守られながら遊ぶ姿が感動的で、大自然の厳しさと素晴らしさを感じた。本来は保護施設も必要ないこのような光景こそ、あるべき姿だと感じた。
- ◎石井正則さんのナレーションは、松下さんとのかけあいも楽しかった。もう少し絡みが多くても良かったと思う。
- ◎ゾウの個体数減少には象牙目的の密猟があり、象牙の輸入先として日本も関わりがある。こうした乱獲の背景に触れても良かったのではないかな。
- ◎保護施設のキーパーの背景や、どんな思いでゾウの世話をしているのか、個々のキーパーにも焦点を当てればもっと番組に奥行きが出たのではないかな。また、野生に戻ったゾウのその後も知りたかった。
- ◎松下さんの涙の意味を補足するような、地球環境や生態系についてももう少し視聴者に考えてもらうような問題提起をしても良かったのではないかな。

第2部 第2部の今後の運営について

以上、制作部門にフィードバックし、今後の番組作りの参考とさせていただきます。

次回の番組審議会は2020年5月14日（木）の予定です。

